

台風25号の接近に伴う被害防止対策について

気象災害対策H30-12
平成30年10月4日
農林総合研究センター

I 被害防止対策

詳しい台風情報、解説は最終ページ

現在、大型で強い台風第25号は、宮古島の南東約340kmを時速20kmの速さで北北西へ進んでいます。

石川県には7日（日）に最接近する進路予想となっています。

今後の台風情報に十分注意し、万全の対策を講じて下さい。

〈要旨〉

- 1 露地ほ場を中心に前回の大雨による被害状況を確認するとともに、大雨に備え、再度、排水路を点検・連結するなど、排水対策を徹底する。
- 2 水稲の収穫期となっているほ場は、可能な限り刈取作業を進める。また、倒伏した稲は、穂発芽等による品質低下を防ぐため、排水対策に努める。
- 3 野菜や花き等の園芸施設では、施設内に風が吹き込まないように、サイドのフィルムを下ろし、破損箇所を速やかに補修するとともに、ビニールのバタつきを防ぐため、ハウスバンドを締め直すなどの点検・整備を実施する。
- 4 収穫期に入っている園芸作物では、熟度を確認し、収穫可能なものは早急に収穫、出荷する。

〈詳細〉

II 農作物の被害防止対策

1 水稲

現在、直播・晩植コシヒカリ、晩生のひゃくまん穀は刈取適期を過ぎている。
(10月4日現在)

(1) 事前対策

- ① 降雨前に可能な限り刈取作業を進める。

(2) 事後対策

- ① 降雨による穂発芽の発生が懸念されるため、特に倒伏した圃場では排水対策を徹底しておく。(暗渠排水の水閘を開放しておく)。
- ② 穂発芽等による品質低下を防ぐため、速やかに刈取作業を進める。
- ③ 被害粒(胴割粒、着色粒等)混入による等級低下を防ぐため、強風による籾

擦れなどの被害を受けた場合、収穫・調製作業を可能な限り分別して行う。

- ④ やけ米防止のため、収穫した生粳は速やかに乾燥機に張り込み、通風を行う。生粳を4時間以上放置することは避ける。特に高水分粳では注意する。

2 大豆

現在、「エンレイ」は黄葉～落葉期、「里のほほえみ」は黄葉期となっている。
(10月4日現在)

(1) 事前対策

- ① 事前に排水対策を徹底しておく。
降雨後に圃場内に停滞水が残らないように、事前に畦間と排水溝との連結を点検し、必要があれば補修しておく。

(2) 事後対策

- ① 台風通過後は速やかに圃場を点検し、排水状況を確認し、必要があれば補修する。

3 大麦

現在、播種作業直前である。播種適期は10月中旬である。(10月4日現在)

(1) 事前対策

- ① 事前に播種する圃場の排水対策を徹底しておく。降雨後に圃場内に停滞水が残らないように、額縁明渠を施工し、ほ場内に停滞水が残らないようにする。

(2) 事後対策

- ① 台風通過後は速やかに圃場を点検し、排水状況を確認し、必要があれば補修する。
- ② 播種作業は、土壌が乾くなど、ほ場条件を確認し、実施する。

4 野菜・花き

(1) 事前対策

- ① 施設野菜・花き(トマト、きゅうり、軟弱野菜、ストック、葉ぼたん等)
 - ア 大雨に備え、再度、ハウス周囲の排水溝を点検・整備し、施設内の浸水に備える。
 - イ 施設内に風雨が吹き込まないように、サイドのビニールを下ろし、破損箇所は速やかに補修したり、ビニールのバタつきを防ぐためにハウスバンドを締め直すなどの点検・整備を早急を実施する。
 - ウ 換気扇が設置されている場合は、暴風時に施設を密閉し、換気扇を稼働させて、施設の内圧を下げて、フィルムがばたつかないようにする。

- ② 露地野菜・花き(だいこん、ブロッコリー、ねぎ、葉ぼたん等)

- ア 再度、ほ場の排水溝を点検し、大雨時の冠水に備える。
- イ なすや豆類などの棚仕立ての品目では、筋かいや直管で棚を相互に連結し、また周囲の杭等と棚を固定し、棚全体を固定・補強する。

ウ 砂丘地のだいこん、にんじん、かんしょ等では、飛砂防止のために防風ネット等を設置する。降雨がない場合は、スプリンクラー散水を強風の前から台風が通過するまで行う。

エ なすなどの果菜類では、収穫可能なものは早急に収穫する。

オ ねぎはパイプ支柱を1.8m間隔に立て、2本のハウスパンドで挟み込むように連結結束し、横ゆれを防止し、葉の損傷や倒伏を抑制する。

カ 葉ぼたんなど立体栽培の花きは、鋼管支柱を3～5m毎に打ち込み、ネットを補強する。

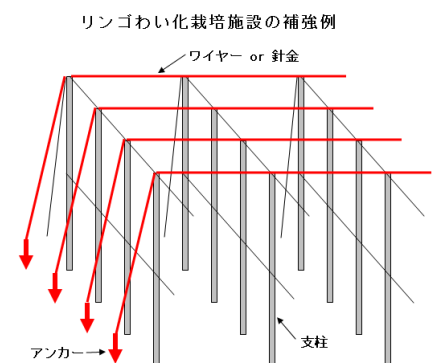
(2) 事後対策

- ① 豪雨によりほ場が冠水した場合は、3時間以内ではほとんど悪影響はないが、3時間を超えると高温によるむれや、根腐れによる被害が発生しやすくなるため、直ちに表面排水に努める。
- ② 砂丘畑等で強風や飛砂で茎葉が傷んだ場合は、通過後直ちに速効性肥料で追肥する。また、茎葉が風雨でもまれた場合は、病害が発生しやすいので、殺菌剤による防除を行う。
- ③ 花きでは風で茎が斜めになった場合は、台風通過後2～3時間以内にネットを起こし元に戻す。特に葉ぼたんは起こすのが遅れると茎が曲がり、元に戻らなくなるので注意する。

5 果樹

(1) 事前対策

- ① 収穫期に入っているなし、りんご、くり、かき、いちじく等は、熟度を確認し、収穫可能なものは早急に収穫、出荷する（ただし農薬使用基準を遵守すること）。
- ② 防風施設は支柱を点検し、ネットの破れ等は補修し架線にしっかり固定する。
- ③ りんごの普通栽培やかきでは、枝の揺れによる落果を防止するため、枝の結束や支柱立てを行う。特に、果実の多い枝は、抵抗が大きく揺れやすいので注意して行う。
- ④ りんごのわい化栽培では、支柱の上部をワイヤー等で連結し補強する。
- ⑤ 棚栽培での果実の落果のほとんどが、風圧による棚の上下動が原因であるため、必要に応じて支柱・アンカー等で棚面を補強し、揺れを抑える。
- ⑥ キウイフルーツ、いちじく等の新梢は折れやすいので、被害を軽減するため、新梢を棚面や支柱等に固定する。特に、いちじくでは、葉擦れが原因でサビ果が発生するので、新梢が揺れないようしっかりと固定する。
- ⑦ ぶどうの収穫が終了した園は、速やかにビニールをはずす。また、防鳥網、防風ネットは風で飛ばされないようしっかりと固定する。
- ⑧ 高接ぎ更新などの接ぎ木部分は風に弱いので、支柱を添えて必ず補強する。また、以前に裂けた枝、裂ける危険のある個所についても補強が必要である。
- ⑨ 大雨を伴う場合は、排水溝を設置するなど園内の排水対策を行う。



- ⑩ 事後対策のための資材等を予め準備しておく（薬剤、補修資材等）。

（２）事後対策

- ① 台風で打ち身やすり傷を負った果実は、軟化、腐敗や落果が懸念される。収穫可能な果実は直ちに収穫し、食用、加工用、飼料用、廃棄するものに分別し、処分する。また、落下果実は直ちに園外へ持ち出す。
- ② ビニールハウス、果樹棚、支柱等の施設の被害は早急に補修する。
- ③ 倒伏樹は速やかに起こし、支柱で固定する。太根の切断が著しい場合は、その程度に応じて地上部を切りつめる。
- ④ 枝裂けは状態に応じて傷害部を削り取り、塗布剤で処理する。
- ⑤ 落葉被害を受けた場合は、被害程度に応じて摘果を行い、果実品質維持と樹体の回復を図る。
- ⑥ 強風で葉や新梢が傷ついた場合、使用基準に基づき保護と防除を兼ねて速やかに殺菌剤を散布する。

6 畜産

（１）事前対策

- ① 畜舎内に風が吹き込まないように、窓、戸等の破損箇所は速やかに補修する。
- ② 暴風時は風向きを考慮し畜舎の開口部を最小にして、換気扇を稼働させて換気を行う。
- ③ 停電によって搾乳作業やバルククーラーが止まることが予想されるので、緊急時の発電機の確保を検討しておく。

（２）事後対策

- ① 畜舎の点検を行い被害箇所の修理を行う。
- ② 畜舎への浸水があった場合は、排水に努め、水が引いた後、速やかに畜舎、家畜、設備器具の水洗、乾燥、消毒を実施する。特に、搾乳機器は故障箇所の点検を行い、消毒等の衛生対策を徹底する。

7 飼料作物

（１）事前対策

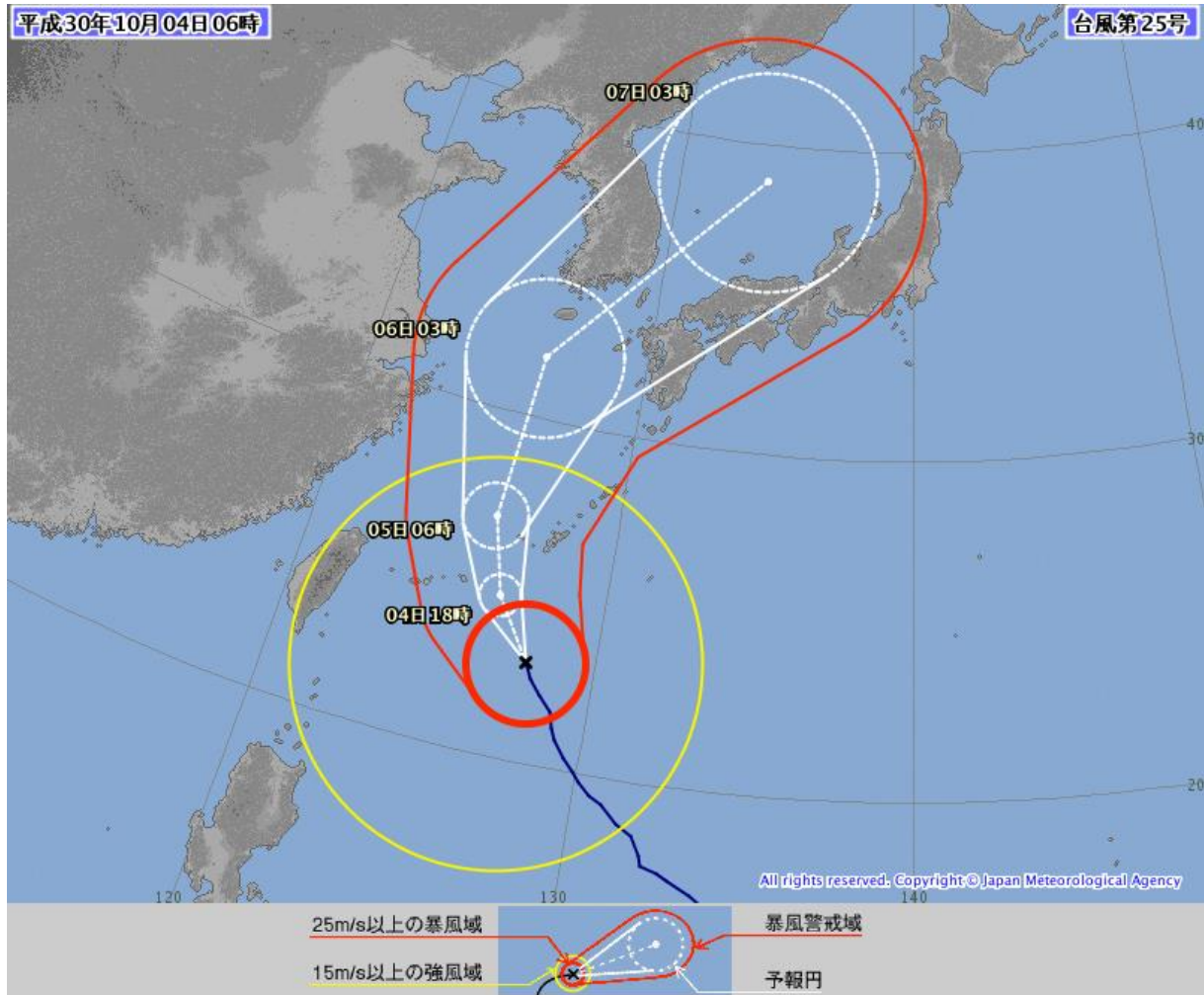
- ① 飼料畑ほ場に排水溝を設けて表面排水対策を徹底する。
- ② ロールベールサイレージのラップやバンカーサイロ等の被覆ビニールは、網をかけるなど強風による破損を防止する。
- ③ 飼料用とうもろこしについては、天候に応じ糊熟期以降であれば一部収穫の前倒しを検討する。

（２）事後対策

- ① 倒伏したソルガムは、速やかに収穫し品質の低下を防ぐ。
- ② 飼料用とうもろこしは、倒伏の傾きが45度以下なら生育に支障がないので、収穫せずに登熟を進める。地際まで倒伏した場合は、熟度が進んだものほど回復が小さいので、折損により回復が見込めないものを優先して、熟度に応じて収穫時期を決定する。
- ③ ロールベールサイレージのラップやバンカーサイロ等の被覆ビニールに破損箇所があれば、再度ラッピングするなり、テープを貼るなどサイロの気密性確保に努める。

Ⅲ 気象の概況

台風の進路予想



〈4日06時の実況〉	
大きさ	大型
強さ	強い
存在地域	宮古島の南東約340km
中心位置	北緯 22度50分(22.8度)
	東経 127度50分(127.8度)
進行方向、速さ	北北西 20km/h(10kt)
中心気圧	955hPa
中心付近の最大風速	40m/s(80kt)
最大瞬間風速	60m/s(115kt)
25m/s以上の暴風域	全域 190km(100NM)
15m/s以上の強風域	西側 750km(400NM) 東側 560km(300NM)

